



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月8日

上場会社名 ミナトホールディングス株式会社
 コード番号 6862 URL <https://www.minato.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 若山 健彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営企画部門長 (氏名) 三宅 哲史
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-5847-2030

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	5,742	32.5	66	234.7	66	19.1	56	15.7
2019年3月期第2四半期	8,510	40.9	19	52.9	82	124.0	66	269.2

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 38百万円 (41.1%) 2019年3月期第2四半期 65百万円 (258.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	7.54	
2019年3月期第2四半期	8.94	

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	8,093	2,609	30.9
2019年3月期	9,815	2,559	25.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 2,500百万円 2019年3月期 2,465百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		2.00	2.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期の配当予想額は現時点で未定であります。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,500	8.5	190	19.9	140	27.6	100	5.5	13.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	7,447,914 株	2019年3月期	7,447,914 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	44 株	2019年3月期	3,115 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	7,437,162 株	2019年3月期2Q	7,444,869 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善により緩やかな回復が続いておりますが、世界経済においては、英国のEU離脱交渉の不確実性や米中貿易摩擦の長期化等が懸念されており、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと当社グループにおきましては、メモリーモジュール関連事業のセグメント利益（営業利益）が前年同期を上回る実績となった一方で、デバイスプログラミング・ディスプレイソリューション関連事業及びシステム開発関連事業においては前年同期を下回って推移いたしました。

営業外収益としましては、日本サインホールディングス株式会社に対する持分法による投資利益43百万円を計上いたしました。当第2四半期連結累計期間における為替変動により、当社グループが保有する外貨建資産価値が減少したことによる為替差損37百万円を計上いたしました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高5,742百万円と前年同期と比べ2,767百万円（32.5%）の減収になりました。営業損益につきましては、営業利益66百万円と前年同期と比べ46百万円（234.7%）の大幅な増益となりました。経常利益は66百万円と前年同期と比べ15百万円（19.1%）の減益、法人税等を差し引いた親会社株主に帰属する四半期純利益は56百万円と前年同期と比べ10百万円（15.7%）の減益となりました。

セグメント別の業績につきましては、次のとおりであります。

①メモリーモジュール関連

メモリーモジュール関連事業については、主要製品のDIMM（Dual Inline Memory Module）及びSSD（Solid State Drive）の主要調達部材であるDRAM、NANDともに新世代品の歩留り向上や製品需要の後退により、昨年からの価格下落が続いておりました。一時、米中貿易摩擦や韓国の貿易優遇対象国の見直し、及び本年6月に発生した東芝メモリ（現キオクシア株式会社）四日市工場の停電事故等の影響によるメモリーの品薄感の高まりもあって、DRAM価格は下げ止まり、NAND価格は反転しましたが、依然として需要は回復せず足元では価格を下げ続けております。

これらの状況の中、来年1月に控えたWindows7のサポート終了によるPC買い換え需要の増加により、国内PCメーカー向けDIMM及びSSDの販売が伸びた結果、当セグメントの売上高は4,786百万円と前年同期と比べ2,844百万円（37.3%）の減収となったものの、セグメント利益（営業利益）は242百万円と前年同期と比べ66百万円（38.2%）の増益となりました。

②デバイスプログラミング・ディスプレイソリューション関連

デバイスプログラミング関連事業については、プログラム本体の販売が前年同期を上回り、消耗品の変換アダプタ販売は前年同期と同等の実績となりました。大型設備機器関連では、オールインワンハンドラの実車メーカー向け納入が進んだほか、オートハンドラに関しましても前年同期を上回る販売実績となりました。ROM書込みサービスにつきましては、作業効率化推進により安定的に利益を計上できる体制を構築し、前年同期を上回る実績となりました。

ディスプレイソリューション関連事業については、企業のショールームや商業施設に向けた大型特注タッチパネル、ATM向けタッチパネルの受注が安定的に推移いたしました。自動販売機向け及び公共機関向けのタッチパネルの受注台数が前年同期に比べ減少いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は581百万円と前年同期と比べ73百万円（14.5%）の増収となりました。セグメント利益（営業利益）につきましては、本年4月に設立したジャパンデジタルサイネージ株式会社の立ち上げ費用の計上もあり、5百万円の損失と前年同期と比べ32百万円（前年同四半期27百万円の利益）の減益となりました。

③システム開発関連

システム開発関連事業については、従来の技術支援型（人材派遣型）案件において安定的な受注を獲得することができ、堅調に推移したものの、受託開発案件において取引先の予算縮小等の影響を大きく受け、前年同期を下回る実績となりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は313百万円と前年同期と比べ36百万円（10.5%）の減収となりました。セグメント利益（営業利益）は21百万円と前年同期と比べ11百万円（35.6%）の減益となりました。

④その他事業

その他事業につきましては、ウェブサイトの構築等を営む日本ジョイントソリューションズ株式会社、企業の買収等の斡旋や仲介及びこれらに関するコンサルティング業務等を行うミナト・フィナンシャル・パートナーズ株式会社に加え、LED受注販売等の環境エレクトロニクス関連事業等を展開しております。

また、新規事業として取り組んでいるインテリジェント・ステレオカメラ事業については、複数の取引先と多様な用途での実証実験（PoC）を進めており、今後、量産体制を構築してまいります。

当セグメントの売上高は、ウェブサイト構築コンサルティングの新規受注等により75百万円（前年同期36百万円）と増収となりましたが、インテリジェント・ステレオカメラ事業の開発費の計上もありセグメント利益（営業利益）は0百万円の利益（前年同期21百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて22.3%減少し、6,302百万円となりました。これは、商品及び製品が135百万円増加したものの、現金及び預金が1,081百万円、受取手形及び売掛金が41百万円、原材料及び貯蔵品が338百万円、前渡金が417百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて5.4%増加し、1,789百万円となりました。これは、有形固定資産の新規投資などによるものです。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて17.5%減少し、8,093百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて27.6%減少し、4,049百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が81百万円、短期借入金が1,334百万円、1年以内返済予定の長期借入金が47百万円、未払金が63百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて13.7%減少し、1,435百万円となりました。これは、長期借入金が212百万円減少したことなどによるものです。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて24.4%減少し、5,484百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.9%増加し、2,609百万円となりました。これは、当四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益が56百万円であったことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績予想につきましては、2019年5月14日に公表いたしました2020年3月期の連結業績予想のとおりにはほぼ推移すると思われまます。

なお、この連結業績予想に変化が生じると見込まれる場合には適切に開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,346,316	2,265,228
受取手形及び売掛金	2,281,682	2,240,622
商品及び製品	700,339	835,413
仕掛品	70,193	77,561
原材料及び貯蔵品	982,266	643,618
前渡金	439,194	21,945
その他	309,517	233,157
貸倒引当金	△14,510	△15,034
流動資産合計	8,115,000	6,302,512
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	980,297	980,766
減価償却累計額	△854,710	△859,296
建物及び構築物(純額)	125,586	121,470
土地	635,450	635,450
その他	342,615	437,788
減価償却累計額	△125,582	△164,744
その他(純額)	217,033	273,044
有形固定資産合計	978,070	1,029,965
無形固定資産		
のれん	75,601	56,701
リース資産	11,974	9,347
その他	30,557	35,512
無形固定資産合計	118,133	101,561
投資その他の資産		
投資有価証券	106,647	112,753
関係会社株式	198,523	241,674
敷金及び保証金	237,583	237,074
破産更生債権等	41,834	41,354
繰延税金資産	31,521	29,580
その他	27,987	37,230
貸倒引当金	△41,834	△41,354
投資その他の資産合計	602,263	658,314
固定資産合計	1,698,467	1,789,841
繰延資産		
社債発行費	1,899	1,627
繰延資産合計	1,899	1,627
資産合計	9,815,367	8,093,982

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	746,783	665,210
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
短期借入金	4,077,262	2,742,805
1年内返済予定の長期借入金	468,658	420,836
未払金	153,007	89,967
リース債務	3,212	7,653
未払法人税等	48,471	40,742
賞与引当金	27,089	24,570
製品保証引当金	1,020	830
その他	37,502	26,788
流動負債合計	5,593,008	4,049,404
固定負債		
社債	75,000	60,000
長期借入金	1,391,406	1,178,574
リース債務	14,542	6,206
退職給付に係る負債	82,573	91,372
再評価に係る繰延税金負債	94,429	94,429
その他	4,500	4,461
固定負債合計	1,662,450	1,435,043
負債合計	7,255,458	5,484,448
純資産の部		
株主資本		
資本金	993,003	993,003
資本剰余金	1,384,742	1,383,466
利益剰余金	167,534	207,425
自己株式	△1,553	△13
株主資本合計	2,543,726	2,583,881
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,739	△5,699
土地再評価差額金	△73,981	△73,981
為替換算調整勘定	△2,126	△3,823
その他の包括利益累計額合計	△77,847	△83,505
新株予約権	70,603	82,652
非支配株主持分	23,426	26,505
純資産合計	2,559,908	2,609,534
負債純資産合計	9,815,367	8,093,982

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	8,510,686	5,742,830
売上原価	7,869,103	5,012,069
売上総利益	641,583	730,761
販売費及び一般管理費	621,835	664,655
営業利益	19,748	66,105
営業外収益		
受取賃貸料	14,661	8,779
為替差益	38,615	—
持分法による投資利益	27,146	43,151
その他	1,882	4,784
営業外収益合計	82,306	56,715
営業外費用		
支払利息	13,059	13,721
為替差損	—	37,159
その他	6,736	5,378
営業外費用合計	19,796	56,259
経常利益	82,257	66,561
特別利益		
新株予約権戻入益	3,415	—
特別利益合計	3,415	—
特別損失		
固定資産除却損	394	0
特別損失合計	394	0
税金等調整前四半期純利益	85,279	66,561
法人税、住民税及び事業税	15,842	20,239
法人税等調整額	782	2,138
法人税等合計	16,624	22,378
四半期純利益	68,654	44,183
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2,099	△11,920
親会社株主に帰属する四半期純利益	66,555	56,103

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	68,654	44,183
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,524	△3,959
為替換算調整勘定	△1,750	△1,697
その他の包括利益合計	△3,275	△5,657
四半期包括利益	65,379	38,525
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	63,280	50,445
非支配株主に係る四半期包括利益	2,099	△11,920

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	85,279	66,561
減価償却費	43,387	49,286
のれん償却額	24,457	18,900
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△681	44
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,888	△2,519
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△60	△190
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,506	8,799
受取利息及び受取配当金	△849	△1,290
支払利息	13,059	13,721
持分法による投資損益(△は益)	△27,146	△43,151
売上債権の増減額(△は増加)	15,432	40,085
たな卸資産の増減額(△は増加)	△136,337	196,206
仕入債務の増減額(△は減少)	191,923	335,676
その他	△24,563	51,700
小計	188,297	733,831
利息及び配当金の受取額	849	1,290
利息の支払額	△13,055	△13,935
法人税等の支払額	△50,428	△41,746
営業活動によるキャッシュ・フロー	125,662	679,439
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,010	△6,500
有形固定資産の取得による支出	△25,041	△103,298
無形固定資産の取得による支出	△3,688	△8,028
投資有価証券の取得による支出	△35,686	△10,713
関係会社株式の取得による支出	△211,275	—
敷金及び保証金の回収による収入	452	—
敷金及び保証金の差入による支出	△406	△98
貸付金の回収による収入	734	84
保険積立金の解約による収入	3,944	17
その他	—	3,788
投資活動によるキャッシュ・フロー	△271,975	△124,748
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	745,000	△1,334,457
長期借入金の返済による支出	△376,510	△260,654
社債の償還による支出	△15,000	△15,000
リース債務の返済による支出	△2,119	△3,606
新株予約権の行使による株式の発行による収入	4,952	—
非支配株主からの払込みによる収入	—	15,000
配当金の支払額	—	△13,675
非支配株主への配当金の支払額	—	△1,498
自己株式の取得による支出	△53	△20,189
財務活動によるキャッシュ・フロー	356,270	△1,634,081
現金及び現金同等物に係る換算差額	23,132	△8,198
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	233,090	△1,087,588
現金及び現金同等物の期首残高	3,098,974	3,340,305
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,332,064	2,252,716

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	メモリーモジュ ール関連	デバイスプログラミン グ・ディスプレイソリ ューション関連	システム 開発関連	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,626,888	504,686	343,885	8,475,460	35,226	8,510,686	—	8,510,686
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,204	3,000	6,326	13,531	1,106	14,637	△14,637	—
計	7,631,093	507,686	350,212	8,488,991	36,332	8,525,324	△14,637	8,510,686
セグメント利益又は 損失(△)	175,116	27,216	33,529	235,862	△21,733	214,129	△194,380	19,748

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、Webコンテンツ事業・環境エレクトロニクス事業・インテリジェント・ステレオカメラ事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△194,380千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	メモリーモジュ ール関連	デバイスプログラミン グ・ディスプレイソリ ューション関連	システム 開発関連	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,783,735	577,966	308,309	5,670,010	72,819	5,742,830	—	5,742,830
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,238	3,090	5,012	11,341	3,163	14,504	△14,504	—
計	4,786,973	581,056	313,322	5,681,352	75,982	5,757,335	△14,504	5,742,830
セグメント利益又は 損失(△)	242,082	△5,614	21,603	258,072	247	258,320	△192,214	66,105

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、Webコンテンツ事業・環境エレクトロニクス事業・インテリジェント・ステレオカメラ事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△192,214千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。